

平成30年度 横須賀工業高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目・目標	職員研修	事故防止 会議	R1年度重点	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	実施	実施	重点	職員会議及び職員打合せの機会に、管理職より情報提供、意識啓発を行い。職員自らの服務遵守意識が高まった。
わいせつ、セクハラ行為の防止	実施	実施	重点	管理職が報道機関からの情報提供等を活用した意識啓発を行い、職員の知識・理解が深まり、資質が向上した。
体罰、不適切な指導の防止	実施	実施	Ⓢ重点	管理職と職員が一体となって、研修や事故防止会議を行い、知識・理解を深めている。次年度更に重点的に意識向上を図る。
成績処理及び進路関係書類作成及び取り扱いに係る事故防止	実施	実施	Ⓢ重点	成績処理マニュアルに従い、点検・チェック体制を遵守した結果、成績及び進路関係書類のミスは無く、生徒・保護者に信頼を得ることができた。H31年度も継続して点検体制を強化する。
個人情報の管理・情報セキュリティ対策	実施	実施	重点	定期テスト終了後はシュレッダー使用禁止とし、生徒の解答用紙等の滅失はゼロであった。公用USBメモリの個体数を最小限(3個)に絞り情報管理を徹底した。
交通事故防止、交通法規の遵守		実施		職員会議及び職員打合せの機会に、管理職より情報提供、注意喚起を行った。職員各人が交通法規を遵守している。
業務執行体制の確保等		実施	重点	各グループの主体的なテーマ設定による事故防止会議を実施した。職員の自己管理能力が高まる等の成果が上がった。
会計事務等の適正執行	実施	実施		担当者、管理職及び事務室が連携し、「私費会計の手引き」に従って、適正な執行を行った。
校長による、事故防止個別面談の実施	実施	実施		校長が全職員との面談を複数回行った。校長から直接職員に伝えることで、職員の不祥事故防止への意識が高まった。
実験・実習における事故の未然防止		実施	Ⓢ重点	実験・実習の計画的実施と安全指導の徹底及び実習室の整理整頓を遂行した結果、自習中の事故ゼロを達成した。

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

平成30年度の達成状況は、管理職からの情報提供、職員研修及び事故防止会議についても適切に行われ、一定の成果が上がっており、職員各人の不祥事故防止への意識が向上し、自己管理能力が高まったと感じられた。次年度は「Ⓢ重点」の項目を掲げ、絶対にあってはならないという意識を職員全体に浸透させ、不祥事ゼロを目指して取り組む。